

## 事業コンセプト／計画概要

SHIBUYA  
FUKURAS

## 都市型観光の拠点として渋谷の玄関口に

道玄坂一丁目にあった旧東急プラザ渋谷を含む周辺一帯の再開発エリア内に建設された「渋谷フクラス」は、渋谷を訪れる人々にとって渋谷駅西口の玄関口となっています。

渋谷は多様な人と文化が集まる、日本でも有数のターミナルシティです。そこで渋谷フクラスの1階部分にはバスターミナルと観光支援施設を併設し、渋谷駅周辺の国際競争力を一段と強化。さらに東急プラザ渋谷ではインバウンド需要も視野に入れたショッピングや飲食の場を提供するなど、都市型観光拠点としての環境を整備しています。

新たなトレンドの発信拠点となり、あらゆる人々が渋谷で自分らしく過ごすことで得られる幸福を大きく膨らませ、豊かな人生を楽しめる場所を目指しています。



## ◆ ビジネスの起点となる場を創出

- 高層部に配置したオフィスフロアに加え、産業進出支援施設として「ビジネスエアポート渋谷フクラス」を整備し、企業やクリエイターのスタートアップとなる場を創出

## ◆ 商業施設ゾーン「東急プラザ渋谷」に展開する個性的な店舗

- 中低層部と17・18階に構える「東急プラザ渋谷」には、大人の好奇心を刺激するこだわりと個性にあふれた店舗が来店。17・18階部分には渋谷を訪れる人々の憩いの場となる屋上広場「SHIBU NIWA」を整備し、これまでにないフロア構成を展開

## ◆ 1階部分にバスターミナルと観光支援施設を設置

- 一般路線バスや羽田・成田両空港からの空港リムジンバスが発着するバスターミナルを整備
- 観光案内や手荷物預かりなどの機能を備えた観光支援施設「shibuya-san」をバスターミナルに併設。内部には渋谷のアートカルチャーを世界中に発信する「アートセンター」を設置

## ◆ 周辺の歩行者の安全を考え、渋谷フクラス地下に地域荷捌き所を整備

- 周辺の一部街路においても、誰もが安心して通行できる場として再整備を実施。配送業者などの荷捌きによって道路の混雑や事故を防止するために、渋谷フクラスの地下に地域荷捌き所「ESSA」を設置。来街者の安全性・快適性と街の回遊性を高め、地元商店街のにぎわいを創出

## 建物の概要

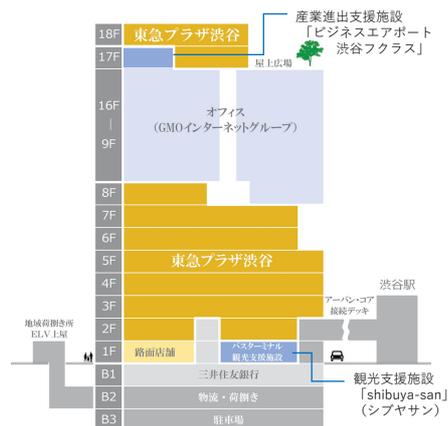
**事業主体** 道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合  
**所在** 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番3号  
**用途** 店舗、事務所、駐車場等  
**敷地面積** 約3,336㎡  
**延床面積** 約58,970㎡  
**階数** 地上18階（建築基準法上は19階）、地下4階

**高さ** 約103m  
**設計者** デザイナー・アキテクト：手塚建築研究所  
 マスター・アキテクト：株式会社日建設計  
**設計・監理** 清水建設株式会社一級建築士事務所  
**施工者** 清水建設株式会社  
**開業** 2019年11月

## 施設の構成と特徴

自分らしく過ごすことで得られる幸福を  
渋谷フクラスの各施設を通して膨らませます

高層部にはオフィスフロアを配置するとともに、産業進出支援施設として東急不動産が展開するシェアオフィス「ビジネスエアポート渋谷フクラス」を整備。中低層部の2～8階と17・18階には「東急プラザ渋谷」、1階にはバスターミナルと観光支援施設を併設しています。地下2階に地元商店街への配送業者が利用可能な地域荷捌き所が設置されているのも特徴の一つです。



### 東急プラザ (2-8F、17・18F)

商業施設ゾーンではインバウンド需要も見据えたショッピングや飲食の場が提供され、渋谷を代表する都市型観光拠点として多くの方に利用されています。なかでも屋上階には、渋谷の街を一望できるルーフトップガーデン「SHIBU NIWA」を設置。世界有数のロケーションで展開し、日本初上陸の総合エンターテインメントレストラン「CÉ LA VI」では、ここでしか体験できない大人の社交場としてゲストを魅了しています。また、6階、7階の飲食フロアは「シブヤグラン食堂」として、さまざまなシーンや気分でチョイスできるバラエティ豊かな“渋谷の大人のお墨付き食堂”が揃っています。



2階 メインエントランス



17階、18階 SHIBU NIWA

### グラマラス森田氏が 環境デザインを担当

本施設の環境デザインを手掛けたのは、国内外で活躍するGLAMOROUS co,ltd.のデザイナー森田恭通氏。

「Station of Life」をデザインコンセプトに、各フロアで異なる素材を用いて個性的な雰囲気を演出。経年変化によって魅力が増すタイムレスなデザインと安らぎを両立しています。



6階 シブヤグラン食堂

### 産業進出支援施設 ビジネスエアポート渋谷フクラス (17F)

クリエイティブコンテンツ産業や外国企業進出の足掛かりとなる産業進出支援施設として、会員制シェアオフィスを展開。作業や商談、リフレッシュといった幅広い用途でビジネスパーソンに活用されるシェアワークスペースとなっています。

⇒詳細はP44

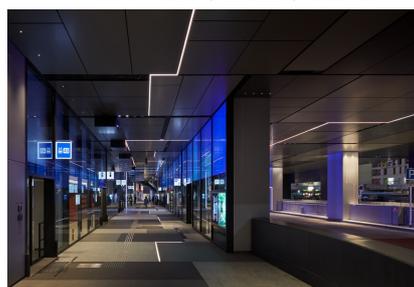


### バスターミナル (1F)

一般路線バスに加え、羽田成田両空港から乗り入れる空港リムジンバスが観光支援施設の目の前に発着。まさに渋谷を訪れる国内外の観光客の玄関口となっています。

- 渋谷～羽田空港 39便※
- 二子玉川・渋谷～成田空港 12便※

※乗り入れ便数（両方面合計）2023年8月時点



### 観光支援施設 shibuya-san (シブヤサン) (1F)

1階のバスターミナルに併設された観光支援施設「shibuya-san (シブヤサン)」。観光案内や手荷物預かりなどの機能を備えるとともに、国内外の観光客がローカルの人々と交わることができる体験・交流の場を創出しています。

⇒詳細はP35



shibuya-san

tourist information & art center